

科目	論理・表現Ⅱ	単位数	3	週時間数	3	年次・コース・組	2年次・一般コース文系
使用教材	教科書 Genius English Logic and Expression Ⅱ 参考書 Genius総合英語						

目標	<p>1. 論理・表現Ⅱで身につけた知識・技能を活用し、英語で「話す(やり取り・発表)」、「書く」の言語活動を通して、情報や考えなどを的確に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付ける。</p> <p>2. 授業の予習・復習、課題への取組等により、言語活動を行う基盤となる文法、発音、語彙・表現等の知識・技能を身に付ける。語彙力については、年度末までに習得語数3600語以上を目指す。</p>
----	--

## 身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	ステップ3 <ul style="list-style-type: none"> <li>論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うために必要となる表現を理解している。</li> <li>日常的な話題や社会的な話題について、賛成・反対の意見を論理の構成や展開を工夫して伝え合う技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、相手の意見に応じて賛成・反対の意見を論理の構成や展開を工夫して伝え合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、相手の意見に応じて賛成・反対の意見を論理の構成や展開を工夫して伝え合おうとしている。</li> </ul>
	ステップ2 <ul style="list-style-type: none"> <li>相手に話したり書いたりして伝え合うために必要となる形式や表現を理解している。</li> <li>日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見や考えを的確に伝え合う技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や考えを的確に伝え合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や考えを的確に伝え合おうとしている。</li> </ul>
	ステップ1 <ul style="list-style-type: none"> <li>相手に話したり書いたりして伝え合うために必要となる基本的な形式や表現を理解している。</li> <li>日常的な話題について、相手に分かりやすく伝える技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、相手に分かりやすく伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、相手に分かりやすく伝えようとしている。</li> </ul>
評価方法	授業時の観察、定期試験、パフォーマンステスト、小テスト	授業時の観察、定期試験、パフォーマンステスト、小テスト	授業の取り組み姿勢や意欲、課題への取り組み、授業用ワークシート、自己評価シート

※この評価規準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながらA, B, Cの評価をし、またそれを基に5段階の評価がつけます。

## 授業の形態、方法

授業では主に1時間目はUnitで出てくる文法事項の学習やリスニング活動、2時間目は文法事項の復習や学習したことを用いた言語活動を行います。一斉授業の他に、グループ学習、ペア学習、発表などを行います。

## 担当者より

授業は予習したことを復習する場、予習段階で不明だった点を理解していく場と考え、授業には必ず予習をして臨むこと。授業後は、学習内容の理解を深め、自分のものとして使うことができるようにするため、復習をすること。

学習計画

月	単元名	予定時数	学習の内容とねらい	実施時数
4	Part I Unit 1 What Country Do You Want to Go To?  Part I Unit 2 Book Report	5	クラスメートに向けて行きたい国を紹介することができる。 [言語材料] 漠然と「人々」を表す we, you など、非人称／形式主語の it, there 構文  ビブリオバトルの聴衆に向けて、すすめたい本を紹介することができる。 [言語材料] 受動態、無生物主語	
5	Part I Unit 3 What News Are You Most Interested In?  Part I Unit 4 What Do You Think about Sports?  (前期中間試験Ⅰ)	5  1	クラスメートに向けて、気になるニュースについて説明することができる。 [言語材料] 現在時制・過去時制、未来を表す表現、進行形、完了形  クラスメートに向けて、スポーツに対する自分の意見を述べるすることができる。 [言語材料] 不定詞(名詞的用法)、動名詞、名詞節を導く接続詞、名詞節を導く疑問詞	
6	Part I Unit 5 Must-Try Local Foods  Part I Unit 6 Letter of Encouragement  Part II Unit1 What Makes You Happy  (前期中間試験Ⅱ)	2  2  4  1	観光客に向けて、すすめたい地元の料理を紹介することができる。 [言語材料] 分詞、関係詞、不定詞(形容詞的用法)  悩みを抱えている人への励ましの手紙を書くことができる。 [言語材料] 意志・推量・義務・必要性を表す助動詞  自分を幸せにするもの／ことについてのパラグラフを書くことができる。 [言語材料] 列挙する表現、比較を表す構文	
7	Part II Unit 2 Does Technology Make Our Lives Better?	4	科学技術と生活についてのパラグラフを書くことができる。 [言語材料] 例をあげる表現、程度の差や変化を表す構文	
8	Part II Unit 3 My Personal History	4	自分自身のこれまでを振り返るパラグラフを書くことができる。 [言語材料] 順序立てて述べる表現、時を表す構文	
9	Part II Unit 4 City? or Country?  (前期期末試験)	4  1	都会と田舎のどちらに住むべきかについてのパラグラフを書くことができる。 [言語材料] 対比・対照する表現、類似を示す表現、譲歩を表す構文	
10	Part II Unit 5 Environmental Problems	6	環境問題とその解決策についてのパラグラフを書くことができる。 [言語材料] 結果を導く表現、原因を述べる表現、目的を表す構文	
11	Part III Unit 1 One Small Action  (後期中間試験)	8  1	社会をより良くするための行動について述べることができる。 [言語材料] 話題を切り出す表現、関心を引く表現、次の話題に移る表現	
12 1 2	Part III Unit 2 Creating Something New in Empty Spaces  Part III Unit 3 Making Your Hometown Special  (後期期末試験)	8  8  1	既習のさまざまな表現を用いて、空きスペースの有効な活用法について述べるができる。  地元や住んでいる地域のまちづくりについて述べるができる。 [言語材料] 議論を進行する表現、発言を促す表現、意見をまとめる表現	
合計時数		65		